

## 地歴・公民科 学習の手引き 1年生（令和3年度入学生）

### I 履修のしくみと学習内容

1年次	普通科・外国語科共通 学習内容 …… 世界史	世界史B（3単位） <b>必修</b> 現代社会（2単位） <b>必修</b> 「近世のヨーロッパ」から西洋を中心に現代に直結する世界史を重点的に学びます。 また、2年次以降に世界史を履修しない人のために、近代以前のヨーロッパ、やその他の文化圏についても簡単に学習します。
	現代社会	教科書を中心に基本的な社会の仕組みや問題点を取り上げ、現代の政治や経済、文化・生活について学びます。
2年次	普通科・外国語科共通 学習内容 …… 日本史B	日本史B（3単位）あるいは地理B（3単位）を <b>選択必修</b> で学びます。 <u>※2年で日本史Bを選択した人は3年次で地理は選べません。</u> <u>※2年で地理Bを選択した人は3年次で日本史は選べません。</u> 「原始・古代」から近世の江戸時代前半までを学びます。
	地理B	地形や気候など「自然環境」から、農牧業・鉱工業などの産業、国家、交通、通信や貿易などについて学びます。
3年次	普通科文系・理系共通 外国語科 <b>普通科文系・外国語科のみ選択必修</b>	公民探究（3単位） <b>必修</b> 公民探究（2単位） <b>必修</b> 世界史B（4単位）・日本史B（4単位）・地理B（4単位）のうち、 1科目を選び履修する。
	<b>外国語科の選択科目</b>	政治・経済（2単位）もしくは 数学β（2単位）
	学習内容 …… 公民探究	基本的な社会の仕組みや問題点を取り上げ、現代の政治や経済、文化・生活などについて詳しく学び、自ら考える力を育みます。 また受験で「倫理・政経」が必要な生徒向けに倫理分野を重点的に学びます。
	世界史B	古代から近世までの各文化圏の成立とともに、現代社会との結びつきに重視した世界史の視点から、多角的に学んでゆきます。 （1年次の世界史「以前」を学ぶこととなります）
	日本史B	江戸時代中期以降、明治維新から現代にいたるまでの日本の歴史を詳細に学びます。（2年終了時の続きとなります）
	地理B	世界の諸地域、人口問題、都市問題、環境問題、民族問題などについて学びます。（2年次とは別な地理の分野について学びます）

### II 進学受験との対応について

<受験する大学によって様々なので、以下の原則を元に各自で調べること>

- ◎ 国公立文系希望生徒 地歴・公民科の科目は大学入学共通テストで2科目必要になります。  
「世界史B」「日本史B」「地理B」「政治・経済」「倫理・政経」「現代社会」から選択。  
※国公立文系大学では2次試験にも地歴・公民科の科目受験が必要な学科もあります。
- ◎ 国公立理系希望生徒 地歴・公民科の科目は大学入学共通テストで1科目必要になります。  
一般的には、普通科理系生徒は以下のようになります。  
①4単位科目受験を要求している大学は「地理B」または「倫理・政経」  
②受験科目の単位制限の無い大学は「現代社会」または「地理B」が一般的。
- ◎ 私立文系希望生徒 地歴・公民科の科目は大学入学共通テストで1教科必要になります。また個別の大学入試でも同様に地歴・公民が1科目必要になります。  
「世界史B」「日本史B」「地理B」「政治・経済」のうちから1科目が一般的。  
※一部の大学では「現代社会」受験も可能です。